

38 市議のタブレット利用率100%、本会議での電子採決、会議資料閲覧に活用【愛知県安城市】



➤ 28名の市議全員にタブレット端末を配布し、スケジュール管理、掲示版機能、ペーパーレス会議、会議のライブ中継のほか、議員が行政調査時に携帯するなど様々な場面で活用。

事業の概要

- 「市民に開かれた市議会」の一層の実現と、効率的で迅速な議会運営、議会の活性化、危機管理体制の強化など、さらなる議会改革により市民に信頼され機能する議会となるため、ICT技術の積極的活用を推進。
- H24年度にPCを3人に1台配布するところから始め、全員協議会におけるペーパーレス会議の試行やタブレット導入に先立ち「安城市議会の情報通信機器使用基準」を策定するなど、議員主導で段階的に活用を拡大。

[タブレットによる電子採決システム]※H30.9～

状態	日数	種別	番号	名前	メモ	投票	結果
完了	3	認定	第1号	平成29年度一般会計歳入歳出決算		賛成	認定
採決中	4	認定	第2号	平成29年度国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算			
採決前		認定	第3号	平成29年度土地取得特別会計歳入歳出決算			
採決前		認定	第4号	平成29年度有料駐車場事業特別会計歳入歳出決算			
採決前	5	認定	第5号	平成29年度下水道事業特別会計歳入歳出決算			
採決前		認定	第6号	平成29年度農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算			
採決前		認定	第7号	平成29年度安城井田周辺特定土地面整理事業特別会計歳入歳出決算			
採決前	6	認定	第8号	平成29年度介護保険事業特別会計歳入歳出決算			
採決前	7	認定	第9号	平成29年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算			
採決前	8	認定	第10号	平成29年度水道事業会計決算			
採決前	9	議案	第68号	安城市長の選挙における選挙運動用ビラの作成の公営に関する条例の一部を改正する条例の制定について			

賛成 0人

反対 0人

欠席 1人

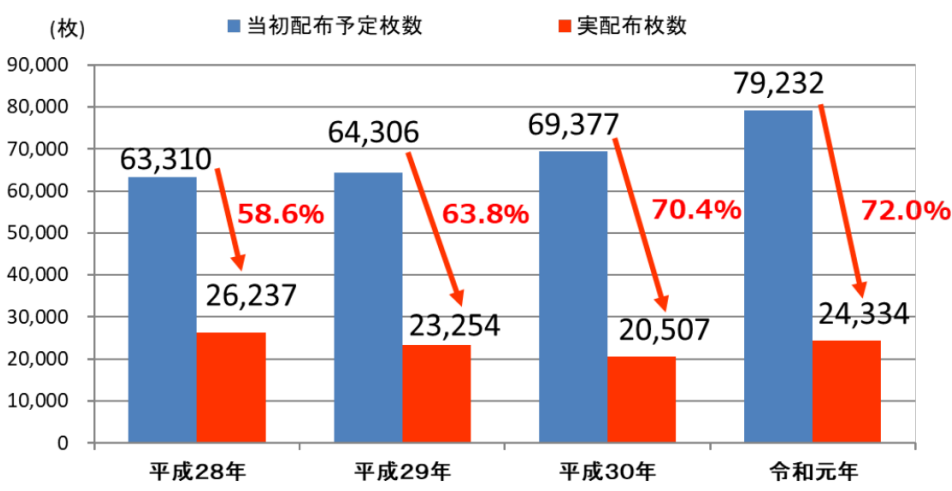
残り 1/2人

投票してください【予定メモ：なし】

賛成

反対

[ペーパーレス化等議会ICT化の効果事例]



費用対効果の算出結果：222万円/年削減（平成29年度実績）
ランニングコスト 313万円 システム利用料、タブレットレンタル費など
効果金額 535万円 人件費、印刷製本費、FAX廃止など

38 市議のタブレット利用率100%、本会議での電子採決、会議資料閲覧に活用【愛知県安城市】

事業効果



- 従来、紙資料の削減（年間6万枚余から2万枚余に削減）や、資料の差し替えや議員への連絡にかかる事務の効率化により、印刷経費や人件費等を約500万円削減でき、システム運用経費を差し引いても、年間約200万円の削減効果がある。（平成29年度実績）
- 資料の閲覧・検索等の機能を活用することで、議会審議等が円滑に実施できるようになった。

コスト



※主にシステム導入等
に係るコストを記載

イニシャルコスト ※税抜	約3,560千円	ランニングコスト(1年あたり) ※税抜	約3,150千円
(内訳) ・導入経費	約3,560千円	(内訳) ・運用経費	約3,150千円
(備考)		(備考)	



スケジュール

検討開始から導入までの期間 7 か月

スケジュールの内訳

H27.6 議会ICT推進プロジェクトチーム発足
H27.11 議会ICT推進基本計画を策定
H28.1～ 運用開始



サービス提供事業者等

サービス提供事業者

東京インタープレイ株式会社、サイボウズ株式会社、富士フイルムビジネスイノベーションジャパン株式会社

サービス名

SideBooksクラウドサービス、グループウェアシステム「サイボウズOffice On cybozu.com」

運用形態

パッケージ製品をクラウド環境で運用

その他参画主体

—



担当部署 安城市議会議会事務局議事課

電話 0566-71-2252

メール giji@city.anjo.lg.jp

38 市議のタブレット利用率100%、本会議での電子採決、会議資料閲覧に活用【愛知県安城市】



（総務省）

議案など市役所から提出される資料は、すべてデータですか。紙配布は行っていないのでしょうか。

原則、議会資料は、すべてデータで議会に提出されています。
議案書等の一部の資料について、紙配布を希望する議員には議会事務局から紙資料を配布しています。



取組においてコストはかかりましたか。

- ①タブレットレンタル料・通信料：1回線当たり、約4,500円／月
- ②グループウェア：導入一時経費 約30万円、ランニングコスト 約20万円／年
- ③ペーパーレス会議システム・電子採決機能：導入一時経費 約20万円、ランニングコスト 約140万円／年
- ④W i f i 設備：導入一時経費 約300万円、ランニングコスト 約20万円／年



他自治体からよく質問されることを教えてください。

Q 1. 議員への操作研修はどの程度行いましたか？

A 1. **各定例会の前に操作研修を行いました。**また、議員同士で教え合う状況がありました。

Q 2. タブレットの使用基準はありますか？

A 2. **「安城市議会の情報通信機器使用基準」を定めています。**（ホームページに掲載）

Q 3. I C T化でどのような効果がありましたか？

A 3. **ペーパーレス化により、事務作業が効率化・迅速化しました。**また、市民に対して、議会や議員の活動が見えやすくなったことや議員活動がしやすくなったと聞いています。



今後の展望を教えてください。

ICT化によって、議員活動をより充実していただくための取組を継続して検討する必要があると考えております。



（安城市）



☆担当：安城市 議会事務局☆

【参考情報】安城市人口：18.9万人（令和6年1月1日現在）

関連URL：議会ICT化の取り組み（<https://anjo-shigikai.jp/know/ict.html>）